【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公表番号】特表2013-532144(P2013-532144A)
【公表日】平成25年8月15日(2013.8.15)
【年通号数】公開・登録公報2013-043
【出願番号】特願2013-514554(P2013-514554)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/24　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/30　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/22　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/715　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/00　１０１
Ａ６１Ｐ　25/02
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｐ　21/00
Ａ６１Ｐ　25/04
Ａ６１Ｐ　25/08
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　25/24
Ａ６１Ｐ　25/18
Ａ６１Ｐ　25/30
Ａ６１Ｐ　25/22
Ｃ０７Ｋ　14/715　ＺＮＡ

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月12日(2014.6.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

ＳｏｒＬＡおよびＧＦＲα１の間の相互作用を調節することにより患者の脳におけるＧＤＮＦの細胞外レベルを高めるために、ＳｏｒＬＡの細胞外ドメイン上の１つまたは複数の結合部位に結合しており、注意欠陥および多動性障害（ＡＤＨＤ）、薬物乱用、および不安障害から選択される疾患を治療するための抗体。

【請求項２】

結合部位が配列番号３を含むか、配列番号３に対して少なくとも８０％、例えば、少なくとも８５％、９０％、９５％または９８％の配列同一性を有する、請求項１に記載の抗体。

【請求項３】

抗体がポリクローナルまたはモノクローナルである、請求項１に記載の抗体。

【請求項４】

抗体が単離されているか、組換えである、請求項１に記載の抗体。

【請求項５】

抗体がヒト化抗体、キメラ抗体または単鎖抗体である、請求項１に記載の抗体。

【請求項６】

ＧＤＮＦ誘導性生存を高める方法における使用のための請求項１に記載の抗体。